

## 徳島県三好市でドローン講習会を開催しました

平成 30 年 10 月 2 日  
徳島森林管理署

1. 徳島森林管理署では、平成 28 年度から国有林に隣接する民有林との民国連携の実現に向けて、徳島県、三好市、林業事業者、徳島森林管理署で構成する「ケーススタディ会議」をスタートさせ、地域の森林・林業の再生に向けた課題解決に取り組んでいます。また、山地災害対策や森林資源調査等にドローンを積極的に活用しており、平成 29 年 3 月には全国で初めて三好市とドローン災害活動支援協定を締結し、互いに連携し災害対応に当たっています。
2. こうした取組を踏まえ、新たな民国連携の取組の一環として、9 月 28 日、徳島森林管理署は、徳島県三好市で県、市町村、地方公共団体、森林組合などを対象にドローン講習会を開催しました。徳島県西部総合県民局、三好市林業振興課、三好西部森林組合、三好東部森林組合、山城もくもくの 5 機関から 26 名が参加しました。
3. 講習会では、冒頭、多田徳島森林管理署長から民有林と国有林がドローンの活用方や課題などを共有することで、更に様々な場面でのドローンの活用を広げていきたいとの挨拶の後、森林管理署職員がドローンの操縦に関する講義を行いました。その後、三好市山城町総合グラウンドに会場を移し、3 班に分かれて参加者がそれぞれ実際にドローンの操縦を行いました。飛行訓練では、離陸、着陸、左右、前後移動といった基本操縦に加え、ドローンの飛行向きを変えないで四角形に移動させる操縦、円形に移動させる操縦など、起伏に富んだ森林の地形や災害調査等を想定した訓練を行いました。
4. 徳島森林管理署では、今後もドローンなどの新技術を活用し、現場のニーズに応じた新たな民有林支援に積極的に取り組んでまいります。



ドローン講習会の講義の様子



熱心に講義を聴く参加者



ドローン操作訓練の様子①



参加者が操作途中のドローン



ドローン操作訓練の様子②



ドローン操作訓練の様子③